

「(仮称) 富山市スマートシティ推進ビジョン (案)」パブリックコメント回答 (1件)

意見 1

森前市長が力を注いでこられたコンパクトシティ政策を深化させるスマートシティ推進ビジョンについて、あらたな展望を拝見しました。

内閣府が推進する Society5.0 との連携も今後の少子高齢化などの問題解決手段として活用されることも読み取ることができました。

私は現在、五福に居住していますので、中心市街地や駅周辺部が便利になっていることは肌感覚で分かります。一方で、中山間地や旧郡部については政策の実効性を感じることができていないという声も聞きます。

例えば、水橋地区などがそれにあたります。実際、森市長も(出前講演会にて)水橋は出遅れてしまったと漏らしておられました。電車やバス路線はありますが、実際は自家用車による移動に頼らざるを得ないという状況があります。さらに駅までのアクセスや駐車の手段が確保できていないので駅を利用しにくいということもあると思います。これでは「誰一人取り残さない」という当初のコンセプトが実施できていないと言わざるを得ません。

推進ビジョンには、移動に不便のないシステムづくりが謳われており、こちらのシステムが推進ビジョンが対象としている今後 10 年のうちに整備されることが望まれてやみません。

カーシェアや自動運転の公共バスの運行など、ソフト・ハード面で課題は多いとは思いますが、郊外や中山間地から優先的に整備することは、今後の期待感を醸成するためにも行いつつ、中心市街地の整備を進めていくということが、今までのコンパクトシティ政策からの「深化」を示すことになると思います。

以上、意見を申し述べてみました。推進ビジョンが今後、市民全体の大きなうねりになることを期待いたします。ありがとうございました。

意見 1 への回答

ご意見をお寄せいただきありがとうございます。

ご指摘のとおり、コンパクトシティ政策により人口の転入超過や地価の上昇などの様々な成果を生み出した一方で、郊外や中山間地域に住む市民の皆様の中には政策の効果が実感しにくいとの声があるのも事実です。

そこで本市では、これまで進めてきたコンパクトシティ政策を継続し、さらに深め、市民生活の質や利便性を向上させるとともに、地域特性に応じた市域全体の均衡ある発展を目指すことを「目的」に、その実現の「手段」としてスマートシティ政策に取り組むこととしております。

今回お示しした「(仮称) 富山市スマートシティ推進ビジョン (案)」(以下、ビジョン (案)) は、産学官民がスマートシティの方向性を共有し行動するための指針となるものであり、特定のシステムの導入を確約するものではなく、あくまでも各取組の方向性において想定される様々な手段の一例として各種デジタル技術等を記載しているものであります。

こうした想定される手段を参考に市民ニーズに即したスマートシティ政策を推進して参りたいと考えておりますので、今後とも本市のスマートシティ推進にご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。